



広報

あくね

= 1 月 =

No. 275

昭和45年1月10日

編集と発行 市長公室企画広報係

毎月1回 10日発行 1部10円

昭和43年8月20日 第3種郵便物認可



おめでとう

一九七〇年

黒之瀬戸架橋ことしこそ着工

太陽国体に万全の準備

同久根市長 丹 宗 忠



的な発展と繁栄をなし遂げるために努力いたす覚悟であることをはっきりと申し上げたいと存じます。近く昭和六〇年を目標とした、市の長期ビジョンを策定して、皆さんがたの前に示し、ご理解をいただきたいと思っております。

夢のかけ橋といわれた、黒之瀬戸架橋についても、ことしは是非とも起工式を行なう運びになるよう努力いたします。

また現在工事中の阿久根新港についても、一段と工事を進め、一部でも使用できるようにあらゆる努力をいたすつもりであります。

県が総力をあげて準備中の、太陽国体も、あと二年後にせまっています。

健康で明るい、市民生活と、たくましい太陽の子の育成にも力をそそぎ、美しいまちづくりにつとめて、りっぱに国体を成功させるための準備の年としたいと念じております。

年頭に当って、わたくしの所信を申し上げ重ねて皆さんのご協力をお願いする次第であります。

輝やかしい一九七〇年の夜明を迎えまして、市民の皆さん本当におめでとうございます。

このすがすがしい朝空に、改めて昭和四十五年の新たな希望と決意を誓われたことと、心からお喜びいたします。

かえり見ますと、昨年は、世界にとても、日本にとても、またわが阿久根市にとっても、忘れることのできないできごとが、数多く発生しております。

わたくしが市政を担当させていだいてすでに満々十年の歳月が流れました。

十年ひと昔と申しますが、当時

のことを思いますと、真に隔世の感がいたします。

しかし、幸いわたくしは、市民の皆様がたのご理解とご協力によりまして市勢も飛躍的に進展してまいれるものと確信しています。

本年は、また昨年に倍して内外の諸情勢はきびしさを増すものと予想されます。

選挙史上初の年末総選挙も終り国民の意向もはっきりと決まりました。

わたくしはこの激動の七〇年代の、当初に、さらに市民の皆さんがたのいっそうのご援助を得てわたくしの愛する郷土阿久根が飛躍



一九七〇年の新春を迎え、市民の皆さんおめでとうございます。旧年を送り新年を迎えることは、若い人にも、お年よりにも、何ともいえないすがすがしいめでたい



市議会議長 平国正富

明るい市政の進展にまい進

気分がするものであります。皆さんのご清福とご繁栄を心からおよるご申しあげます。

わたくしは昨年十一月市議会におきまして、はからずも議会議長

新年おめでとうございます。除夜の鐘とともに、あわただしかった昭和四十四年の幕は閉じ、四十五年の新春を迎えられました昨日までとはうって変って世の中の総べてのものが、まるでよみがえったように、ういういしくすがすが



市教育長 黒崎 栄

静かに年間の計画を立て

“そして努力”

育界の過ぎし一カ年を顧みますと

ところで年頭にあたり、本市教育界の過ぎし一カ年を顧みますと

さらに力強いことは、市内各小

道大会において前年に引き続き全

国優勝の栄冠を得ました。これ

は単にそれぞれの学校の栄光であ

るばかりでなく、またわが阿久

根市のほまれであらうかと存じま

す。

の市町村には多方面に亘って、ゆ

るがせにできないものがある訳で

ありまして、特に経済の高度成長

のひびきによる過疎化は、ますます

深刻化してまいり、市民の皆様

のごあいさつといたします。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

したいと思ひます。

明け行く昭和四十五年が市民の

皆様にとりまして、最良の年であ

り、ますますご発展されんことを

心からお祈りいたします。年頭

のごあいさつといたします。

したいと思ひます。

もごきざされていふことと思ひま

す。

本年はさらに安眠問題を中心に

内政外交等の問題も賑やかになり

また阿久根市政も幾多の問題をか

かえて複雑多岐な年であると思ひ

ますが、わたくしは謙虚と誠実を

心とし執行部と共に相協力して車

の両輪の如く融和をはかり、和を

もつて明るい市政の進展にまい進

歩みを語る

を振り返って

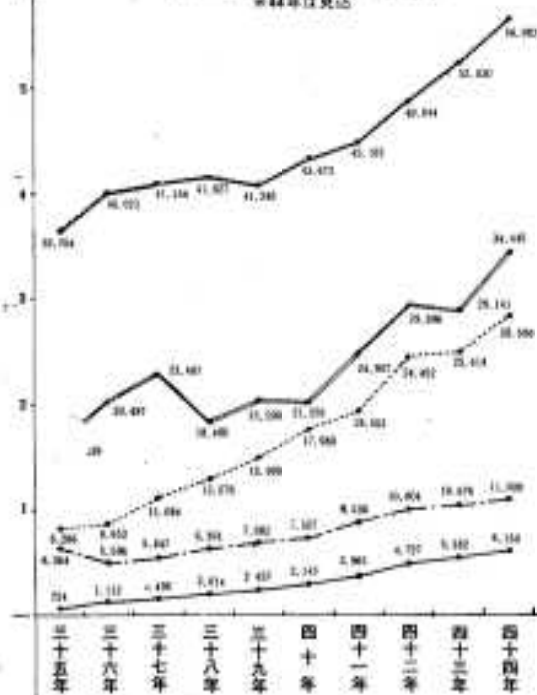
よ歴史の一転機1970年代へとスタートし

は、60年代の満10年間市民のために努力の夜明に当り過去10年の市政を振り返え談会を開きました。

(市長公室長)、高原茂(総務課長)花所長、山田政(保険衛生課長)、新坂長、中野矢四郎(商工水産課長)、前務局長、池田豊(消防署長)、久保重「庶務課長」。

税目別収入伸長率(昭和35年～44年まで)

——国定資産料
——市、民、税
——たばこ消費税
——電気ガス税
——軽自動車税
※44年は見込



予算の規模は四倍の増

保育児の数では十一倍の伸び

……縮減率も無事終りました。

化をたどっていきましょう。

歴史の一転機といわれる一九七〇年代の夜明がやってきたわけですから振り返って、現在の丹波市が充足してから満々十年を経過しています。

この間国内、国際の情勢もめまぐるしく変わってまいりましたが、阿久根市政の発展も目を見はるものがあると思います。

十年一費と申しますが丹波市政充足の一九六〇年頭初に想をめぐらせれば将に禍世の感がいたします。本日は、この十年間の発展の足あとをたどり輝やかしい一九七〇年代への躍進の基礎としたいと思



……税金についてはどうでしょう。かお伺いしたいと思います。

総務課長 税の立場から申し上げます。三十五年に実質調定額が約七千万円程度であったものが、四十四年の最終では約一億四千万円、すなわち二倍になっています。



各税目毎の伸びでは、軽自動車税の八・五倍、たばこ消費税が約三・五倍と急速に伸びています。他の税も年間下

十年間の経済成長を考慮してもなお相当の発展を遂げてきたものといえます。

総務課長 いま、花田課長からお話がありました。少々残念なことは、十年前の総収入に占める率は二七・六割もあつたものが現在では十二・六割に減少しています。

……一応財政関係を終りました。住民に最も身近な政治、それが地方自治の最大のものだと思います。その点で福祉関係をどうぞ



福祉事務局長 児童福祉施設なんです。十年前は根本保育所一カ所だけだったのが、三十九年四月、四十二年折多にそれぞれ設置しています。



また児童館にしましても、三十九年、四十年、四十二年、

二年と、尻無、鶴川内、赤瀬川と三つを建設いたしました。保育児童の数では、十年前六十名であつたものが、児童館を含めると六百五十名ですので約十倍にふくれているわけです。……児童福祉では真に目ざまし

市政10年の 1960年代

史上初の師走選挙も無事終り、いよいよ
ました。

1960年のはじめに発足した、丹波市政
してきました。いま、輝やかしい70年代
り、今後の発展の希望をこめて課長の座
出席者 江良英千代(助役)、中野勝雄
田岩雄(税務課長)、花木伝(福祉事務
上勝(市民課長)、海平武次郎(水道課
田力(農政課長)、島中保(構造改善事
春(建設課長補佐)、西園芳三(教育、

いのですが、
三十八年高松
にみその老人
ホームが設立
されました。
この建設に
ついては、市
もできる限り
のお世話をし
たわけですが
現在六十名の
としよりのか
たがたにたい
また最も愛つ
たことといま
すと国民健康保
険でしょう。
十年前は臨本
区だけ実施さ
れていたのが
国民皆保険の
ためから三十
六年から全市
で実施され、
昨年から社会
保険者全員七
割付となった
とでしよう。
また、結核に
ついてはこの
年の間に患者
の数が約半分
に減っています。
四十二年頃か
ら、ほとんど
伝染病とい
うものが発生
していません。
各種の予防接
種の効果が表
れて来た結果
だと思えます。
……国民健康
保険の実施、
七割
給付、は市民
一人一人が負
担する医療費
は相当に軽減
されていると
云っていいで
すね。

ちり集収に新鋭車二台 十年前は馬車で埋立

い発展だといえませんが、老人福祉
の面ではどうでしょう。
福祉事務所長 市の施設ではな
のとなつたりつばなものです。

へん喜ばれて居ります。
県下でもめずらしいくらい設備
のとなつたりつばなものです。

……ありがとうございました。
今度は、保険とか衛生の面ではど
うでしょうか。

未だ肥料として使われていたの
すが今では全くといっていいほど
これはなくなりました。
そこで民間の業者を指導して、
くみ取り、海上投棄してありますが
近く広域的にりっぱな処理場が完
成しますと一そう環境衛生の面
も充実されることとなります。

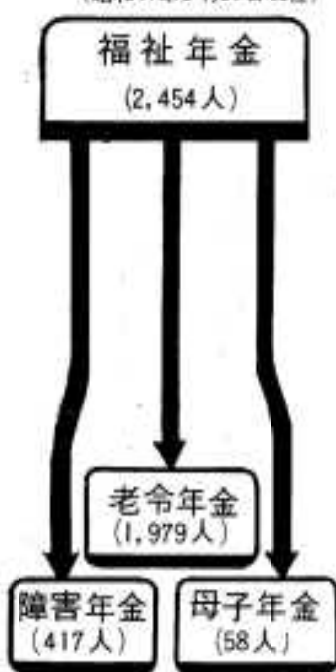
保険衛生課長 ちりの収集につ
いては、十年前は、馬車一台でど
とごとと集めて回っていたんです
しかも焼却場がないので埋立地に
捨てていた
のですが今
では、自動
収集の車二
台で集めて
焼却しています。いま各家庭から
出るごみの量も十年前とは倍に
近い六百五十キロに達している現
状です。

拾っていた
のですが今
では、自動
収集の車二
台で集めて
焼却しています。いま各家庭から
出るごみの量も十年前とは倍に
近い六百五十キロに達している現
状です。



収集の車二
台で集めて
焼却していま
す。いま各家
庭から出る
ごみの量も
十年前とは
倍に近い六
百五十キロ
に達してい
る現状です。

福祉年金の需給権者数
(昭和44年3月31日現在)



四千百戸に上水道

簡水は十倍の伸び

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。

水道課長 上水道ですが三
十五年度約二千四百戸の給水戸数
で八十八万の給水量だったのが
四十三年度では、実に四千百戸、
百三十九万に達しています。
……簡易水道につきましては、
上水道のおよばぬ地区を対象に、

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。



……簡易水道につきましては、
上水道のおよばぬ地区を対象に、

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。

……市に上水道が完成したのは
たしか、二十七年の四月だったと
思いますが、その後の上水道や、
簡易水道の普及の状況はどうで
しょうか。

最も市民に喜ばれていますが十年前には熊本黒之浜だったと思いがすがそのへんは……

水道課長 そうですね、三十一年に黒之浜が完成していましたが、三十四年に熊本、三十五年に鹿屋



さらに田代三十九年には鶴川内そして昨年三笠簡易水道

が完成しています。

……簡水の給水戸数では十倍以上の伸びでしょうね。

保健衛生課長 そのほかこの十年間に、上水道、簡易水道に含ま

誘致企業に五百名の従業者

観光阿久根の地位向上

……ところで、産業関係担当の課長さんにお伺いしたいのですが、まず水産関係はどうでしょうか……

商工水産課長 水産関係といえはまず、漁港ですが、阿久根漁港が三十六年に第三種漁港に昇格しています。

黒之浜、倉津、牛之浜、佐崎、が、特に黒之浜、倉津は見違えがえ、熊本県の各漁港も整備されましたようにうらやまになっています。

まもなく、阿久根新港、工事中の牛之浜港も完成すればなおさらのことです。



阿久根港の舟の出いりの数も一、二万三百隻から三万三千隻と大幅に増えています。

また特に、伸びたのはなんと……現在十一億六千万円となっています。四億以上の増加だといえます。

また施設の面でも漁業構造改善事業として多くの事業を行なっていますが、特に水産加工の面などで相当の成果があがっています。

……商工業観光の面ではどうでしょう。商工水産課長 商



業ですが、これは住民の数が十年前とは、相当に減少しているにもかかわらず、逆に、売上高は増えています。

特に市の中心街を歩いてみれば十年前とは、商店の規模美観などくらべものならぬほどよくなっていますね。

四十三年には、駅前から小学校の下までのアーケードの建設、市も約三百三十万円を補助して約一千百万円で完成しております。

また観光面でも大きな伸展があります。

十年前まではやはり鹿児島県内だけの阿久根でしかなかったのが今ではもう九州の阿久根ぐらいいはなっています。

大島のキャンプ客の宿泊客のうち七割から八割は北九州、熊本方面の人たちだという点から見てもそれが何があるわけですよ。

それから七十年代の展望として黒之瀬戸架橋の完成をまわって、天草、雲仙、長崎に直結する観光の実現を願っています。

課長から話がありました、人口が減っているにもかかわらず、たばこ消費税が三倍半も伸びた原因の一つには、やはり観光客の増加があるのではないのでしょうか。

また、現在市内で操業している工場、例えば、焼酎、澱粉などを



●加入できるかた
国内に住んでいる日本国民で明治三十九年四月一日から明治四十四年四月一日までの間に生まれたかたで、申し出の時点において、他のいずれの年金に加入してないかた。(恩給などをもらっているかたは加入できません)。
●申し出期間
昭和四十五年一月一日から六月三十日まで。
●保険料
月七百五十円で加入した月から五年間納める(保険料の免除はできません)。

日曜医さん

●二月十一日

北国医院 ③0016

山田医院 ③0420

●二月十五日

堀切医院産科③0263

喜多医院 ③0058

●二月二十二日

中村医院産科③0015

内山病院外科③1151

国民年金加入の
申し出は早めに

除いてすべてこの十年來市が誘致したものです。
九州皮革、スター光学、細井製作所、虚印スポーツ、久野織物、など順調な発展をつづけており、

転機に即応する構造改善事業

ブロイラー飼育七万羽

……なるほど、これは人口流出をくいとめる有力な一つの要因となると思えますね。

それでは、農政面ではどうでしょうか、とかく農業は、つかみどころがない、とか、救いようがないとか、云われているようですが

農政課長 悪い悪いといわれながらも農業では、十年前とくらべれば相当な進展をしています。



たとえば
みかん、ブ
ロイラー飼
養、畜産な
ど見るべき
ものがあります。

しかし、他の産業があまりにも大きく伸びていますので、これらと比例して伸びているというわけにゆきませんのでどうも……。

しかし数字的に見ても三十四年子豚の生産五千四百頭だったのが四十四年には一万五千頭と約三倍、乳牛では百四十頭が四百十頭とこれも三倍、ブロイラーに至っては三十六年頃からはじまって現在七万羽という数になっています

これらに従って市内の従業員も約五百名にのぼっていますが、今後工場発展にともない相当の増加が期待されています。

……農業構造改善事業では相当の資金を投資して大規模な事業が進められていますがこのへんのところをお話しいただけませんか。

農業構造改善事務局長 この農業構造改善事業というのは、三十四年当時はなかったわけで、丹波市政になってから始まったものですが、三十八年に事務局をつくってやっているわけです。

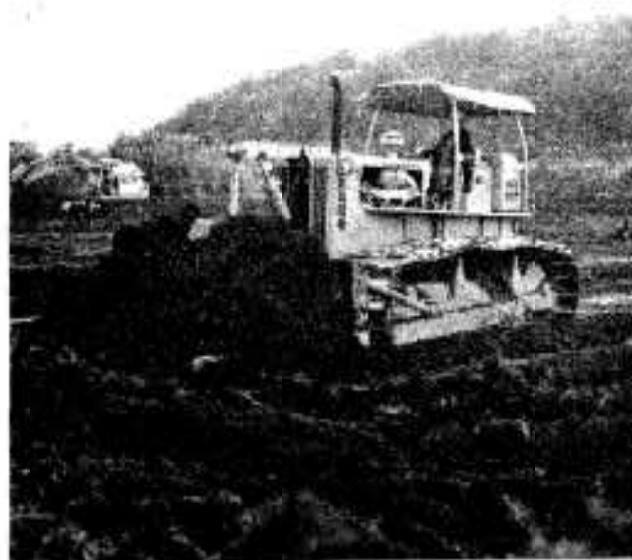
第一回の計画

は、みかん園づくりですが、四十二年からはじめて八十三号完成しています。

これも現在のほ場整備と合わせて道路二万八千にもつくっています。

それから第二回の事業として

田んぼのは場整備を約六十三号やっています。



この事業は、米の転作など、いま議論されている、将来の農業の転機についての大きなテスト的パロットになるんじゃないかと思っています。



また整備まで整頓してやる、その上、農家が自動車をかうための融資の世話までしてやることにしています。

……これは本当にいい事業ですね。またこれと同様に県の開発公社が完成させた三十二号のみかん園なども非常にいい事業ですね。農政課長 これは今後の問題としては是非実現させたいものとして産物の最低価格保障、制度金融の長期、たとえば三十年ぐらいのもの、そして開発の為に譲渡した土地についての税の問題などがあ



いますが、基幹作物を野菜にもっているわけです。

完成しますと、どの田んぼも道路と用排水路に面して、いつでも畑に転換できるし、将来は鉄骨ハウスをつくらせて、野菜をつくるようになるわけです。



飛躍的な道路整備 大活躍の救急業務

十名からみると約半数近くに減っています。消防隊から見ると格段の向上だと思えます。

また、消防団は自動車五台、可搬ポンプ二十五台を備え、自動車分団四、可搬分団二十、団員三百七十二名、市内各所に水そう三百二十六、消火栓百二十五個をもっています。三十四年の団員六百七

消防署の設備その他は消防車二台、救急車、指令車各一台、無線基地一、移動局四となっています。

消防署長 これほもう、四十年三月一日の消防署の発足による常備消防の充実でしょう。

二十名の署員が日夜市民の生命財産の保護に当たっていますが四十二年七月、救急車が配置されて以来、救急業務も署の重要な任務の一つとなって来ています。

農業構造改善事務局長 ですからわたくしたちがいまやっていることは、あと十年もすると、農家人口は半分か三分の一くらいに減るといわれていますが……

事業は個々に分散している農地を集約して実際に大業をやるうといふ意欲のある人に、企業の農業をやってもらい、そうゆう為の構造改善事業を進めているわけです。



……地方自治といえ、道路、公営住宅、とすぐ結び

つくように市民生活に密接に影響のある建設課の所管についてお願いたします。

建設課長補佐 ここ十年來、なにが変ったと申しまして、道路はどろりばになったものはありません。



市を南北に貫く国道三号線などは十年前は舗装され

ていたのはわずかに市街地のみだったのが今では完全改良完全舗装です。



また県道も折口黒之浜間、市街地から鶴川内間はほぼ完了しています。また十年前までは全く舗装してなかった市道や農道も現在すでに二万五千坪が舗装されました。



久橋への架設立体交又も進んでいます。

近頃農村地帯に出かけてもきれいに舗装された道路をよく見えますが、このようにことが十年前に考えられたのでしょうか。……なるほどそうですね。



少しつつあります。しかし施設の間では画期的な改善が行なわれています。阿久根小を除いて鉄筋校舎の見られなかった十年前に比べると、阿中、三笠中、大川小、西目小、鶴小、鶴小などに完成しています。全体も、大川中、西目小、鶴小、阿小、折多小、三笠中などに完成しました。

ブルーも阿中、阿中にまた近く他の学校にも建設されることになっています。

時代に即応した科学、理科の施設への充実も行なわれました。

●内容

○家計簿をつけ始めた勤めや記帳上の苦心談。

○家計簿をつける喜びや家族の協力の模様。

○家計簿で発見したムリやムダ。

○最近の物価高を家計簿記帳により、うまく乗り切った体験。

○家計簿をもとにした明るい生活設計。

○グループによる家計簿記帳の勉強ぶり。

●原稿

○本文四百字詰原稿用紙五枚以内最近の記帳内容のわかる簡単な表を添付のこと。

○住所、氏名(ふりがなをつける)職業、年令、同一家計でくらす家族名。

○封筒の表面に「家計簿体験談」と明記のこと。

●原稿受付

県庁地方課内鹿兒島県庁前推進委員会または日本銀行鹿兒島支店まで。

画期的な市民会館の建設

屋体・プール・順調に整備

特に三十八年には、県下にきき
かけて、小中学校の完全給食を行
なっています。
また、市民体育館の完成、耕庄

が根気よく地元民の了解を得つ
つ、市立図書館など
も市発展の象徴のようなもの
だと思いが……
これは一九七〇年代の課題です

「あつた保母さんが二十四
名に四名だった消防職員が二十名
に、また当時すべてPTAのかた
がたで負担していたいた学
校給食関係のひとびとをすべて市
で引き受けましたのが四十名にな
っていますので一般の職員の数
はかえって減少していることにな
っています。

……ありがとうございます。
ところでその他のことで公室長
にお伺いしたいのですが……
市長公室長 今も、図書館、体
育館の話がありました、四十
一年三月完成した市民会館の建設は
と十年来の最も大きな仕事の一
つだったと思います。
総工費一億一千万円でしたが、
これには市民のかたがたの多くの
ご寄付をいただいております。

この市民会館完成によって、け
かりしない便益を受けています
が、結核式もすでに三百二十五組
もあがっているようです。
また、市
の職員の数
をとってみ
ましても、
十年前二百
九十八名だったのが三百七十名に
なっていますが、これは十年前、



●期間

二月二十八日まで。

●発表

六月中旬本人に通知するほか
NHK放送などで発表。

農林業センサス

二月一日

いっせいに実施

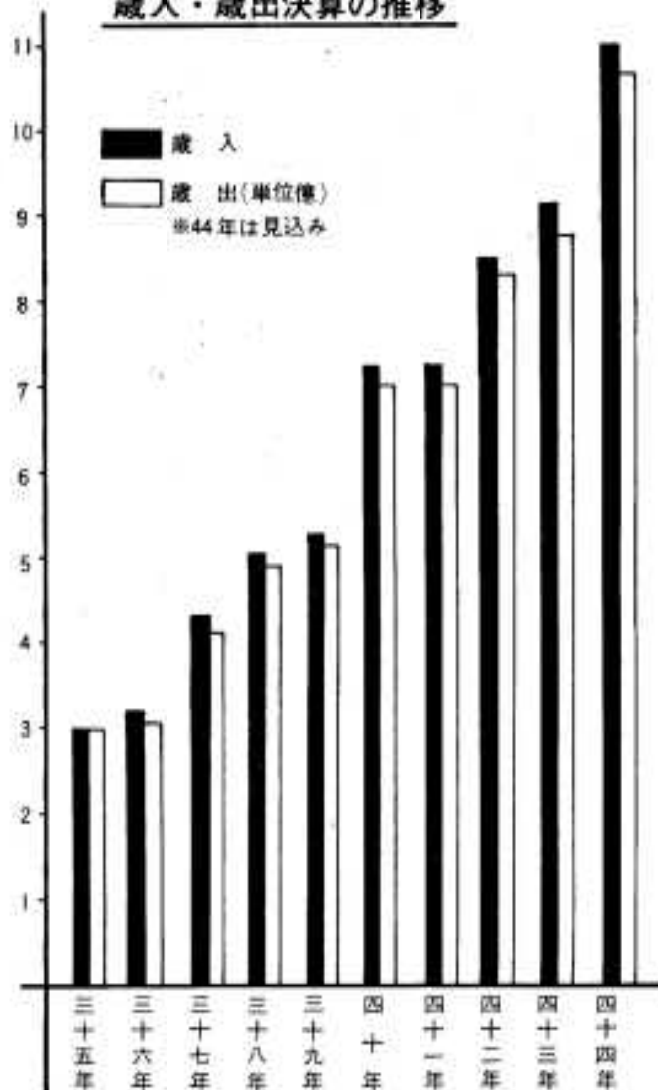
世界農林業センサスが、二月
一日現在で実施されます。

これは十年ごとに行なわれる
農林業の国勢調査ともいえるも
ので、農林業の基本構造および
農山林の生活環境を明らかにし
また、農業構造を総合的に把握
して、農業の動向を正確にとら
え、農政を具体的に企画、立案
して実施する貴重な資料となる
ものです。

市でも百七十四名の調査員に
依頼して、みかしまがたの各関
係家庭を訪問して調査すること
になりますので、よろしくお願
いします。

この調査された資料は、統計
を作成する目的以外に利用する
ことを固く禁じられていますの
で、ありのままをお答えくださ
い。

歳入・歳出決算の推移



著しい住民負担の軽減

めざましい機械化の近代化

……なるほどそうですか、これを軽くしたと思っておりますよ。

で一応皆さん方のお話をお伺いして来ましたが、ここで助役さんにこの十年間なにが一番変わったかまじめの意味でお伺いしたいと思いますが……



助役 そうですが、みんな変わっているわけですが、まあ私が考えている最も変わったというか進歩したのは、封建的な、なごりだといわれる賦役をほとんどなくしたということですね。

このことは、非常に、住民負担

ものが、今では、あまり待たずに

さつともらえる。農業の機械化無動力船の動力費などあらゆる面でやっています。

それから環境衛生のことをいわれましたが、これは大きな一つの特徴として、蚊とはえのいないまちづくりということが大きく進んだですね。

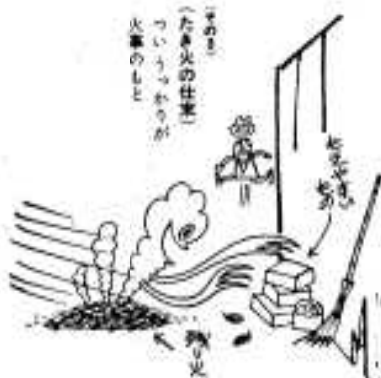
たしかにこれは少なくなりました。いろいろありますがまあそんなようなことですね。

……それは皆さんどうもありがとうございます。

……

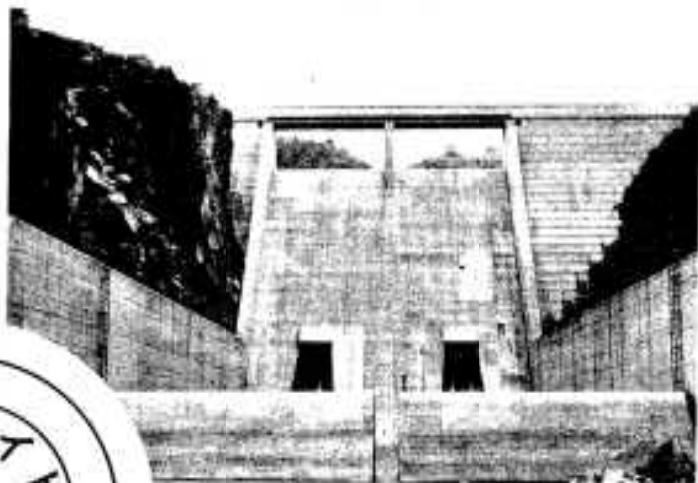
いま捨てたタバコの温度が7百度

危険がいっぱい
冬の暖房





高松橋20メートルに拡幅



高松川防災ダム県一を誇る(3月完了)



市内山下に精密工場進出



第27回国民体育大会ボクシング会場に決定



第一回漁民祭数百隻が大魚旗をかかげ海上パレード



市内多田内田地区に、県下初の分壊建て売り農地
三十二ヘクタールを造成(県開発公社)

こ と し の こ よ み

= 1970 =

1月	1日	元 日
1月	15日	成人の日
1月	20日	大 寒
2月	3日	節 分(豆まき)
2月	4日	立 春
2月	11日	建国記念の日
3月	3日	ひなまつり
3月	18日	彼岸入り
3月	21日	春分の日(彼岸の中日、ひな市)
3月	中旬	小中学校卒業式
3月	上旬	小中学校入学式
4月	15日	金比羅祭(旧3月10日)
4月	29日	天皇誕生日
5月	2日	八十八夜
5月	3日	憲法記念日
5月	5日	こどもの日(だんごの節句)
5月	6日	立 夏
6月	11日	入 梅
6月	22日	夏 至
7月	2日	半 夏 生
7月	20日	土用入り 海の記念日
7月	23日	大 暑
8月	8日	立 秋
9月	1日	二百十日
9月	15日	敬老の日(仲秋の名月旧8月15日)
9月	20日	彼岸入 (航空記念日)
9月	23日	秋分の日(彼岸の中日)
10月	10日	体育の日
11月	3日	文化の日
11月	8日	立 冬
11月	15日	七五三の祝
11月	23日	勤労感謝の日
12月	22日	冬 至
12月	24日	年の市(よぐれ市) 熊本
12月	25日	" " 阿久根
12月	31日	大みそか

「あいさつ先手運動」であたたかい人間関係をつくりましょう

「親切運動」で住みよい郷土をつくりましょう

「庭先清掃運動」で美しいまちづくりにつとめましょう

阿久根市新生活運動推進協議会

編集後記

昨年は、二回もこのわたしどもと同じ人間が月面を歩いたというのに、正月になるとやはりやれこことは、同年だなどというのも、少々時代はなれしている感じがしないでもない。

しかしそう言うところが、なんと云っても正月らしく、また日本人らしいところでもあろう。去年はとりの年、市内にはすでに七万羽のブロイラーが飼育されているという。

また今年はいぬ年、飼犬登録条例とかで世の犬族どもにとつては、あまりいい年ではなさそう。

ともあれ、この市報も回を重ねて二百七十五号、ちよびりはづかしいが、去年は広報コンクールで、特選にはいったりもした。

わたしどもは、ただ市政上、市民のかけ橋としての広報づくりに苦心する毎月のだが、本号は、丹宗市政十年の歩みを語る特集号とした。

一九七〇年代の夜明けに当たって、こころでゆっくり過去をふりかえって見るのも意味のないことではないだろう。

今年も市民各位のいっそうのご協力を願ってやまない。